

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カインス

コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上地史朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 黒谷理

TEL 03-3816-4123

四半期報告書提出予定日 平成25年8月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,463	5.3	78	24.2	77	42.4	45	39.8
25年3月期第1四半期	1,389	14.5	63	13.2	54	△2.8	32	4.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	10.17	—
25年3月期第1四半期	7.27	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第1四半期	6,073	6,073	2,928	2,928	48.2	657.75	657.75	
25年3月期	6,085	6,085	2,914	2,914	47.9	654.73	654.73	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,928百万円 25年3月期 2,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,745	5.3	117	3.4	113	11.1	66	12.3	14.83
通期	5,616	2.6	267	7.0	260	3.3	154	△0.1	34.59

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	4,558,860 株	25年3月期	4,558,860 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	107,337 株	25年3月期	107,337 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	4,451,523 株	25年3月期1Q	4,451,623 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

		頁
1	当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
	(1) 経営成績に関する説明 .....	1
	(2) 財政状態に関する説明 .....	1
	(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2	サマリー情報 (注記事項) に関する事項 .....	2
	(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
	(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3	継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4	四半期財務諸表 .....	3
	(1) 四半期貸借対照表 .....	3
	(2) 四半期損益計算書 .....	4
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
	(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
	(継続企業の前提に関する注記) .....	6
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
	(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第 1 四半期累計期間における我が国経済は、前事業年度から継続して押し進められてきた金融緩和策や景気浮揚策の効果により、為替相場及び株式相場におきましては、円安をはじめとして堅調な推移を示し景気回復の兆しがうかがえる状況で推移いたしました。

一方、欧州における財政問題、中国をはじめとした新興国経済の減速懸念による影響等から、依然、不透明な状況は継続いたしております。

臨床検査薬業界におきましては、平成 24 年 4 月に実施された診療報酬改定の影響は軽微なものに留まりました。しかしながら、市場における価格競争等の厳しい環境は続いており、収益確保のための対策を続けてまいりました。

このような環境の下、当第 1 四半期の売上高につきましては、14 億 6 千 3 百万円 (前年同期比 5. 3% 増) となりました。

検査分野別で見ると、生化学分野におきましては、前事業年度に引き続き腎機能検査薬と糖尿病検査薬が好調な推移を示したことにより 4 億 2 千 1 百万円 (前年同期比 3. 4% 増) となりました。

免疫分野におきましては、輸血検査薬及びアレルギー診断薬等が堅調に推移したことにより 9 億 3 千 7 百万円 (前年同期比 6. 7% 増) となりました。

また、その他の分野におきましても、機器関連等が堅調に推移したことにより 1 億 3 百万円 (前年同期比 0. 7% 増) となりました。

この結果、営業利益につきましては、7 千 8 百万円 (前年同期比 24. 2% 増)、経常利益につきましては、7 千 7 百万円 (前年同期比 42. 4% 増) となり、四半期純利益につきましては、4 千 5 百万円 (前年同期比 39. 8% 増) となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

区 分	期 別	前第 1 四半期累計期間 〔自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日〕		当第 1 四半期累計期間 〔自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月 30 日〕	
		金 額	構成比	金 額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	382,880	27.5	396,303	27.1
	免疫血清学的検査用試薬	100,158	7.2	142,123	9.7
	そ の 他	97,007	7.0	97,184	6.6
	計	580,047	41.7	635,612	43.4
商 品	生化学的検査用試薬	24,900	1.8	25,432	1.7
	免疫血清学的検査用試薬	778,891	56.0	795,715	54.4
	そ の 他	6,108	0.4	6,627	0.5
	計	809,900	58.3	827,775	56.6
合 計	生化学的検査用試薬	407,781	29.3	421,736	28.8
	免疫血清学的検査用試薬	879,050	63.2	937,838	64.1
	そ の 他	103,116	7.4	103,812	7.1
	計	1,389,948	100.0	1,463,387	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。  
2. 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第 1 四半期会計期間末における総資産の額は、60 億 7 千 3 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 千 1 百万円減少いたしました。流動資産は 29 億 5 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金が 2 億 4 千 9 百万円増加したものの、受取手形及び売掛金 1 億 6 千 9 百万円、並びに原材料及び貯蔵品 5 千万円がそれぞれ減少したことによりです。固定資産は 31 億 6 千 7 百万円となり、前事業年度末と比べ 9 百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得 6 百万円、人事ソフトの更新による無形固定資産の取得 2 千万円の支出があったものの、その一方で減価償却費 3 千 2 百万円を計上したことなどにより減少しております。

当第 1 四半期会計期間末における負債の額は、31 億 4 千 5 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 千 4 百万円の減少となりました。その主な要因は、短期借入金が増加しましたが、

その一方で、支払手形及び買掛金 1 億 2 千 6 百万円、未払法人税等 7 千 6 百万円、賞与引当金 5 千 2 百万円がそれぞれ減少したことによります。

当第 1 四半期会計期間末における純資産の額は、29 億 2 千 8 百万円となり、前事業年度末と比べ 1 千 3 百万円の増加となりました。その主な要因は、四半期純利益 4 千 5 百万円を計上した一方で、配当金 3 千 3 百万円の支払いを行なったことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第 1 四半期会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という) の残高は 9 億 5 百万円となり、前事業年度末と比べ 2 億 4 千 9 百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は 6 千 6 百万円の増加 (前年同期は 3 千 6 百万円の増加) となりました。その主な増加要因は、仕入債務の減少 1 億 2 千 6 百万円、法人税等の支払額 7 千 6 百万円、その他 7 千 5 百万円などの支出により減少したものの、その一方で、税引前四半期純利益 7 千 7 百万円、減価償却費 3 千 2 百万円、売上債権の減少 1 億 6 千 9 百万円、たな卸資産の減少 6 千 5 百万円などの収入によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は 1 千万円の支出 (前年同期は 1 千 2 百万円の支出) となりました。その主な支出要因は、有形固定資産の取得 1 千万円によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は 1 億 9 千 3 百万円の増加 (前年同期は 1 億 1 千 2 百万円の増加) となりました。その主な増加要因は、長期借入金の返済 6 百万円、配当金の支払額 3 千 3 百万円の支出をしたものの、短期借入金の純増 2 億 4 千万円によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の国内経済は、金融緩和策や景気浮揚策などにより改善気配を示しておりますが、欧米諸国の財政問題による影響も含め、引き続き不透明な状況のなかで推移するものと思われま

す。また、臨床検査薬業界におきましても医療費抑制政策及び市場での価格競争等から、厳しい状況は継続するものと思われま

す。第 2 四半期以降につきましては、平成 25 年 5 月 10 日付「平成 25 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」でお知らせしました第 2 四半期累計期間及び通期業績の予想は、変更しておりませ

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	995,530	1,245,175
受取手形及び売掛金	1,346,405	1,176,905
商品及び製品	249,266	235,184
仕掛品	67,419	65,596
原材料及び貯蔵品	164,065	114,028
その他	87,480	71,503
貸倒引当金	△2,900	△2,900
流動資産合計	2,907,268	2,905,493
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	787,367	775,177
土地	1,851,453	1,851,453
その他(純額)	183,788	174,119
有形固定資産合計	2,822,609	2,800,749
無形固定資産	37,860	55,163
投資その他の資産	317,268	312,077
固定資産合計	3,177,738	3,167,990
資産合計	6,085,006	6,073,484
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,107,885	981,698
短期借入金	972,500	1,206,250
未払法人税等	87,289	10,337
賞与引当金	109,000	57,000
その他	288,401	291,265
流動負債合計	2,565,075	2,546,550
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
その他	105,382	98,922
固定負債合計	605,382	598,922
負債合計	3,170,458	3,145,472
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	928,733	928,733
利益剰余金	1,221,619	1,233,497
自己株式	△90,302	△90,302
株主資本合計	2,891,464	2,903,342
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,083	24,669
評価・換算差額等合計	23,083	24,669
純資産合計	2,914,548	2,928,011
負債純資産合計	6,085,006	6,073,484

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,389,948	1,463,387
売上原価	931,984	999,073
売上総利益	457,963	464,314
販売費及び一般管理費	394,547	385,529
営業利益	63,416	78,784
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,671	3,165
受取賃貸料	1,898	1,338
その他	1,595	2,270
営業外収益合計	6,166	6,773
営業外費用		
支払利息	5,384	4,626
手形売却損	258	328
為替差損	8,081	2,277
賃貸費用	598	—
その他	950	1,009
営業外費用合計	15,274	8,241
経常利益	54,308	77,316
特別損失		
固定資産除却損	182	135
特別損失合計	182	135
税引前四半期純利益	54,125	77,181
法人税、住民税及び事業税	15,541	3,017
法人税等調整額	6,200	28,900
法人税等合計	21,741	31,917
四半期純利益	32,384	45,264

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	54,125	77,181
減価償却費	40,087	32,104
売上債権の増減額 (△は増加)	△58,396	169,500
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△64,963	65,941
仕入債務の増減額 (△は減少)	69,398	△126,187
その他	26,166	△75,618
小計	66,417	142,923
利息及び配当金の受取額	2,675	3,658
利息の支払額	△3,746	△3,311
法人税等の支払額	△29,162	△76,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,183	66,416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,133	△10,250
その他	685	△251
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,448	△10,501
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	190,000	240,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△138,880	△6,250
配当金の支払額	△33,397	△33,514
その他	△5,198	△6,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	112,524	193,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,487	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	134,771	249,644
現金及び現金同等物の期首残高	509,736	655,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	644,508	905,175



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、臨床検査薬の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。